

ここに注目！ 古くから地域に根ざしている商店街が、商店街憲章の制定により、世代を超えた地域密着の取組を実施。



### ポイント

古くから地域に根付いて愛される商店街として発展してきた。手作り七夕まつり、朝市、中元・歳末福引大売出し、ちびっ子縁日、つまみぐいウォークなどの販売促進事業、キラキラブランドの創設や高齢者向けシルバークードの発行など幅広い世代に向け、地域に密着した取組を積極的に行っており、ほとんどの事業は25年以上継続している。

近年は地域の若者との連携を強め活性化している。

また、「商店街憲章」を定め、魅力ある豊かな商店街・街づくりを目指している。

#### [商店街概要及び取組の背景]

### 大規模な人口流出

京成押上線京成曳舟駅から徒歩10分。約470mの昭和レトロのたたずまいを残す地域型の商店街。

今は無き映画館に由来し戦前から「橋館通り」として親しまれて来た。結成は昭和2年、昭和35年に「商業協同組合」を設立。商店街を地域の特性である「下町コミュニティ」の核として位置づけ、ハード・ソフト両面にわたる意欲的な活性化事業を展開。ドラマ・映画の舞台や旅番組のロケにも多く利用されている。

しかしながら、同区の錦糸町や隣区の江東区にある亀戸の副都心化による発展などもあり、大規模な人口流出が起こり、徐々に衰退の影が見えてきた。

#### [取組の概要・効果]

Plan・Do

### ハード・ソフト両面にわたる事業着手

商店街を地域の特性である「下町コミュニティ」の核として改めて位置づけ、近代化を進めることによって再生を図るべく、平成元年度の東京都コミュニティ商店街事業の申請を行った。これを機に、ハード・ソフト両面に



地域に根付いた下町の商店街

わたる意欲的な活性化事業に着手、「下町・人情キラキラ橋商店街」のキャッチフレーズを作り、親しまれている。昭和55年から続く朝市は、毎月第4日曜日に各店の特色を活かしたサービスを提供。その他、多彩なイベントや取組が地域に受け入れられ、浸透し、地域コミュニティの場として重要な役割を果たしている。地域コミュニティ、生活インフラを守ることにより、キラキラ橋商店街がある京島町から、買物難民、買物弱者を出さない事が最大の目標でもある。

さらに最近では、商店街事務所を改装して「お休み処橋館」として無料開放、女性専用トイレや車いす対応トイレも設置し、ゆっくりお買い物を楽しむ仕組みを作っている。

#### [効果の評価と改善策の実施等]

Check・Action

### 定期的なイベント開催・商品のブランド化

朝市は、名物イベントとして成長しているが、さらなる幅広い層を取り込むべく、年1回開催の夜市や七夕祭りなど、定期的な集客イベントを開催している。

墨田区の商店街活性化事業「ワンモール/ワンライト作戦」の一環のキラキラブランドには、ゆず入り饅頭の「キラキラのかおり」、餃子の餡を鶏皮で包んだ「チキン

餃子」など個性豊かなものが次々と登場し、さらなるブランドの多様化を目指し取り組んでいる。

また、地元信用金庫・早稲田大学地域ゼミ等と協働作成したポスターは、全国信用金庫 PR ポスターコンクール部門最優秀賞を受賞し高い啓発効果を実現した。

### [実施体制]

#### 若者と連携し地域交流の場を提供

キラキラ橘商店街が繁栄していくため、組合員が協力しあい、豊かな街づくりのため、①共通の利益、②共通の責任、③共通の価値観を基本理念とした「商店街憲章(キラキラ橘きめごと)」を定めている。

本憲章の基本方針を定め、関係者の意志疎通について調整を行い、魅力ある商店街づくりの実現を期するものとしている。

また、一昨年5月東京スカイツリーのオープンによる観光客増加を見越して、商店街のために看板娘たちが再結成したという設定のアラサーアイドルグループ「帰ってきたキューピッドガールズ」の活動や商店街入口の「田丸神社」をお金が「貯まる」パワースポットとしてPRし、観光客増加につなげる仕組みを作った。

その他、千葉商科大学生や早稲田大学地域ゼミ、墨田区の劇団等と積極的に連携し、地域交流の場を提供することにも力を入れている。

### 基本データ

所在地：東京都墨田区京島

会員数：96名

店舗数：85店舗

関連URL：<http://kirakira-tachibana.jp/>



子供たちで賑わう「ちびっ子縁日」



七夕まつり



夜市

### キーパーソン

向島橋銀座商店街協同組合



左: 理事長  
寺尾 肇

右: 理事・事務局長  
大和 和道

### 共通の目的意識、危機意識を持つこと

一国一城の集まりの商店街では全体が理解して行うイベント等は難しいため、共通の目的意識、危機意識を持ったお店で継続していくよう考えています。

また、地域密着型である当商店街は日曜休みが多く、ご迷惑をおかけしていますが、再開発で周辺地域のライフスタイルも変化している中で、これからは日曜営業にも取り組んでいきたいと考えています。

これらの課題を解消するためにも、地域に若者の参加を促し、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

### チャンス活かし次世代に繋ぐ商店街

商店街共通の課題とも言われる後継者不足や若者の参加については、商店を引き継いだ20代の若者や大学生に積極的に参加してもらい、イベント当日だけのお手伝いだけでなく、企画から携わってもらうことで商店街活動を行っているという意識を芽生えさせたり商店街により興味を持ってもらうようにしたりすることで対応しています。

東京スカイツリーや東京オリンピック開催による観光客の増加など、これから先も商店街にとってチャンスは多くあります。そうした機会を見逃す事なくやる気のある商店同士が結束して商店街活性化に取り組んでいく事が次の世代につながっていくと思ひます。